

証券市場新聞

1 第200号

日経平均株価

2万1798円87銭

▲246円89銭(前日比)

TOPIX

1595.27

▲13.85(前日比)

2019
10/14
月曜日発行元 株式会社 証券市場新聞社
〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6C
TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861
marketpress.jp

CPS/IoTの最先端技術

CEATEC2019話題の企業は?

「CEATEC JAPAN」
が開催される幕張メッセトプフォー
行車両運
の自律走
が開発中
が自律走
ドライブ
行、SB
周辺を運
が展示場
走行バス
ない自律
ンドルが
実験。ハドローン
や、農機
ング技術
けセンシ
「車載向
知する
精度で検
況の高い
周辺の状
でも車両
悪天候時
を、実施
術の実車
転支援技
次世代運内閣府が情報社会
「Society 4.0」に
続く、新たな社
会「Society 5.0」
の構築を目指
すなかで、CPS/I
oTの最先端技術
が集結するCEAT
ECは例年以上に脚
光を浴びている。名称から「JAP
AN」が外れ「CEA
TEC 2019」と
して開催される今年
のイベントでまず話
題を集めそうなのが
ソフトバンクグル
プ(9984)傘下の
SBドライブが行う
自律走行バスの実証「」の実用化への期
待が高まりそうだ。
同じく運転支援で
は三菱電機(650
3)がコンセプトカ
「EMIRA14
(2019)」による

20年目迎え規模拡大

ム「デ
イスパ
ツチャ10月14日から幕張メッセで「CEATEC 2019」
が開催される。2000年にエレクトロニクスショーとCO
M JAPANの2つの展示会が統合され「CEATEC J
APAN」として運営されてから、今年は20年目の節目を
迎える。出展社も昨年を上回る750社以上、会場も1ホ
ル増の計7ホールと規模を拡大して開催される。サイバー
イジカルシステム(CPS)とIoT(モノのインターネッ
ト)が社会に浸透するなかで、最先端技術が注目を集めそ
うだ。などの自動運転に貢
献する準天頂衛星対
応・高精度測位端末
「AQLOC」を公開
する。
この他では日本カ
ーバイド工業(40
64)が何もない空
中に、鮮明な映像を
再表示させることが
できる「空中デイス
プレイ」を公開。20
13年以来6年ぶり
に出展するソニー
(6753)は4K手
術用顕微鏡や4K内
視鏡に使う高度な画
像処理技術や3D映
像関連技術などの公
開を予定している。

日経平均日足チャート



今週の動意銘柄

吉野家統騰し最高値

既存店好調で第2Q大幅増額

週明け7日、吉野家ホールディングス(9861)が大幅に6日続伸、最高値を更新した。20年2月期の第2四半期累計の業績予想について、連結営業利益が3億円から29億3600万円(前年同期比53.4倍)へ上方修正した。創業120周年施策として販売した牛丼の新サイズ「超特盛」などの新メニューの販売数が伸び、「テイクアウト80円引き」などの販売施策も奏功、既存店売上高が前期比6.9%増と好調に推移した。

SI2Q計画超過
7日、システムインテグレータ(3826)がストップ高。20年2月期の第2四半期累計の決算を発表。売上高で従来予想の19億円に対して19億5100万円(前年同期比6.6%減)、営業利益で2億円に対して2億7800万円(同1.2%増)と計画超で着地した。業務効率改善や開発生産性向上の取り組みの成果が大きく数字に表れている。

ワキタ今期下方修正

7日、ワキタ(8125)が3日続落。20年2月期の業績予想について、連結営業利益で65億円から50億円(前期比21.6%減)へ方修正した。主力の建機が販売・賃貸ともに堅調ながら、原価の高騰や収益性の高い中古機売上の市況悪化による売却益の減少の影響を受けている。

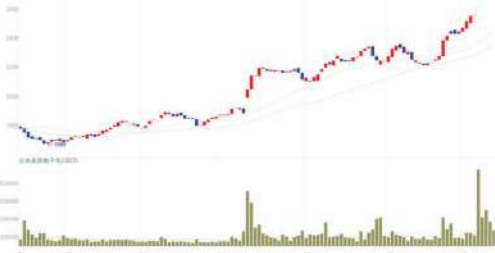
正直いいさんの株で大判小判

11日の東京市場は続伸となり、日経平均は2万1800円に迫る場面がありました。米中閣僚級会合の初日を終えて、トランプ大統領がポジティブな発言をしたことで、時間外でのNYダウ先と上海市場が上昇し、3連休前の手仕舞い売り心に主力が注目の安なり株価に買われていきます。川電機は業績悪化はか織り込まれていたようにとどまりました。同正の津田駒も同様で、2Q計画未達で売られも下げ渋るなど全般的欲は強いようです。一方、マザーズや先駆して買われ定売りに押される輸出系の主力が更に買われるのか、中小型に回帰するのかが、物色の流れを確認しながら、仕切り直しのタイミングを待ちたいと思います。

仕切り直しのタイミング待ち
花咲翁



吉野家HDの日足チャート



IHI廃食油を燃料に

8日、IHI(7013)が3日続伸。IHI I汎用ボイラが食品加工工場などで発生する廃食油を100%燃料として利用でき、廃食油焚ボイラを組み込んだ新システムを開発したと発表した。新たに燃料を購入するのに比べ、最大約

65%コスト削減でき、バイオマス燃料として再利用することで、省資源化とCO2削減に貢献する。

初値付けた後S高
8日、AICROSSが上場

8日、AICROSS(4476)が東証マザーズに新規上場、公開価格1090円を65.1%上回る1800円で初値を付けた後、ストップ高まで買われ

た。SMSメッセーティング、ビジネスチャット、AI Analyticsサービスを開発・提供する。

公開価格43%上回る
8日、HENNGEの初値

8日、HENNGE(4475)が東証マザーズに新規上場、公開価格1400円を42.9%上回る2001円で初値が生まれた。同社は企業向けクラウドセキ

井筒屋2Q計画超

9日、井筒屋(8260)が急伸、年初来高値を更新した。20年2月期の第2四半期累計決算を発表、連結売上高で従来予想の3200億円に対して331億9600万円(前年同期比12.1%減)、営業利益で4億円に對して5億5100万円(同81.0%増)と計画超で着地した。本店リニューアルや黒崎店の改装、セール効果が寄与。

企業観察

東レ (3402)

利益倍増も改善余地大きい

東レ(3402)は事業環境に厳しさが増すなか、20年3月期第1四半期は減収ながら営業増益を確保した。繊維や機能化成品などいづれも減収減益ながら、炭素繊維が利益を倍増、全社収益を支えた。集計中の第2四半期もこの状況に変わりはないが、通期計画の5・9%増収、13・1%営業増益達成には、売り上げのかさ上げと一層の収益力強化が不可欠だ。炭素繊維好調の要因は主力用途の航空機向けに増産体制が整い、戦略投資の効果が表面化したこと。航空機向けに加え、天然ガスタンクや風力発電ブレードなど環境エ

炭素繊維が全社収益を牽引

エネルギー関連や一般産業用途が拡大、スポーツ分野も回復している。同事業の売上高はM&Aによる規模拡大で前期に2159億円と過去最高の1862億円を大きく上回り、今期は2500億円に拡大する。ただ、営業利益は220億円と過去最高の361億円に及ばず、効率化や操業アップ、グループ連携による収益改善余地は大きい。高騰していた原材料価格が落ち着き、繊維や機能化成品も採算は改善。スポーツ衣料向け高機能繊維やバッテリーセパレーターなど付加価値品を伸ばすことで、売り上げ、収益を拡大する構え。

10日、旭化成(3407)が3日続伸。2019年のノーベル化学賞をリチウムイオン電池を開発した旭化成名誉フェローの吉野彰氏ら3氏が受賞したことを好感した。この他ではニッカト(5367)、オハラ(5218)、カーリットホールディングス(4275)、田中化学研究所(4080)、ニッポン高度紙工業(3

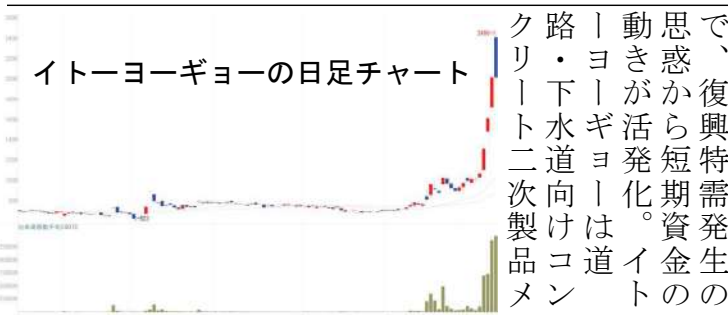
891)など電池部材の企業も買われた。10日、創通(3711)がストップ高。バンダイナムコホールディングス(7832)が同社株を一株3100円で公開買付けすると発表されたことが材料視された。完全子会社化を目的としており、買い付け後は上場廃止となる。

創通は公開買い付け

災害復興関連値飛ばす

台風19号接近で特需へ思惑

9日、イトーヨーギョー(5287)のほか、クリエイト(3024)、JMA(5817)もストップ高に買われ、災害復興関連が値を飛ばした。台風19号が週末に関東を直撃する恐れがあること



で、復興特需発生の思惑から短期資金の動きが活発化。イトーヨーギョーは道路・下水道向けコンクリート二次製品メーカー、クリエイイトはパイプ・継手・バルブなどの管工機材専門商社で、JMAはCSは電線中堅。

アンビスの初値 9日、アンビスホールディングス(7071)がジャスダック市場に新規上場、公開価格2800円を52.1%上回る4260円で初値を付けた。住宅型有料老人ホーム施設内の訪問看護、訪問介護、居宅介護や障害者支援などのサービスと医療施設型ホスピス事業を展開。

公開価格52%上回る

調整完了サイン点灯

先週の東京株式市場は3週振りに反発しました。2万1350円近辺に収斂している13週及び26週移動平均線が下値をサポートした形です。米中貿易交渉を巡る報道に一喜一憂させられた一週間でしたが、一目均衡表・週足でも基準線が下値サポートとして意識された形で雲の上限を回復してきました。貿易協議の結果次第では再度下振れの可能性も残していますが、テクニカルチャートは調整完了サインが灯ってきました。

当欄お馴染みの牛熊レシオは日経平均型で9月19日に98.2%と過熱サインが点灯し、終値ベースで2万2048円から調整入りとなりましたが、10月7日に28%まで低下して週末11日には44%まで回復してきました。概ね過熱調整は完了しましたので、50%回復からラリー再開により年末高が期待される所です。



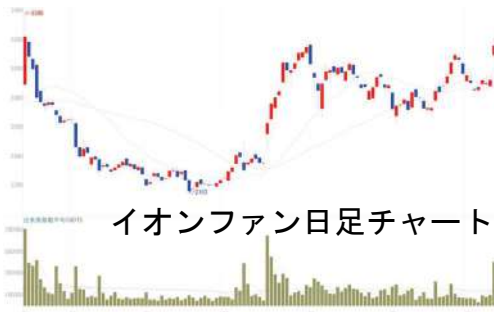
日々勇太郎

転ばぬ先のテクニカル

リチウム電池関連に買い

イオンファンタジー急伸

三菱UFJMS&Qポジティブ評価



10日、イオンファンタジー(4343)が急伸。20年2月期の第2四半期累計決算は、連結売上高で389億5900万円(前年同期比13・2%増)、営業利益で28億5100万円(同0・1%増)となった。これを受けて三菱UFJモルガン・スタンレー証券は「上期営業利益がコンセン

サスを下回ったが、8月以降、国内外の既存店月次売上高の

回復など、モメンタムの強さを考慮すれば、通期計画の達成は可能」とし、レーティング「Overweight」、目標株価4700円を継続したことを好感。

安川電続落も下げ縮小

週末11日、安川電機(6506)が3日続落。20年2月期の業績予想を通過し、連続売上高で4650億円から4200億円(前期比11・5%減)、営業利益で465億円から250億円(同49・8

%減)へ下方修正した。米中貿易摩擦の長期化や半導体関連の投資先送りで設備投資が鈍化、為替も円高に推移していることも圧迫している。ただ、売り一巡後は下げ幅を縮めた。

7&IHD事業構造改
11日、セブン&アイ・ホールディングス(3382)が大幅続伸、年初来高値を更新した。グループ戦略と事業構造改革を発表。フランチャイズ契約のうち、セブン・イレブン・チャージにおけるイオン・セイブの見える化しや不採算店の閉店加速などが柱

津田駒は下方修正

11日、津田駒工業(6217)が大幅反落。19年11月期連結営業利益で14億円から1億円(前期比89・3%減)へ下方修正した。

今週の動意銘柄

10月26日(土)第3回 株式セミナー in大阪

「日本株は長期トレンドで選べ」

MMT理論は株式市場を過去最高値更新に導く!

主催：証券市場新聞 申込はTEL06-6105-1904またはinfo@marketpress.jp まで!

時間：14時～17時 参加料：無料 先着40名 講演会後は懇親会を予定

ヘッジファンドの売買手口で先を読む

大化け特選3銘柄を教えます!

数々の株式コンテストで優勝した岡山憲史さんが登壇

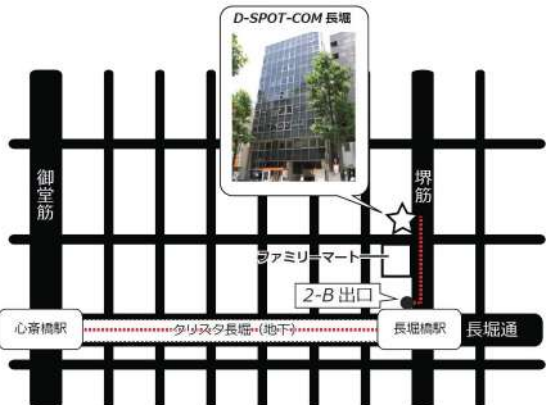


岡山憲史氏(株式会社マーケットバンク代表)1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」約1万人の参加者の中から優勝のほか、多くのコンテストで優勝。1カ月間の3銘柄合計パフォーマンス155%と断トツ。週刊現代や週刊ポスト、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行い、個人投資家に投資情報サービスを提供。

会場：D-SPOT-COM長堀セミナールーム

大阪市中央区南船場2丁目3-6第一住建長堀橋駅前ビル1階
【TEL】06-6105-1904

堺筋線・長堀鶴見緑地線長堀橋駅 2-B出口 徒歩1分
御堂筋線心斎橋駅 クリスタ長堀経由 徒歩5分



*大変便利なポケットサイズのカレント経済ノート「主要経済指標」定価1,000円を先着40名様に差し上げます。

潮流

大胆政府支出で日本は蘇る

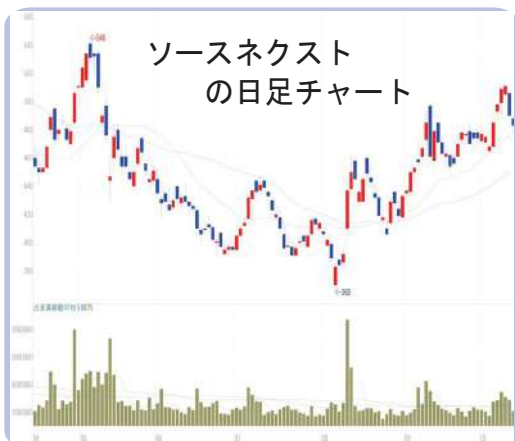
人材育成へのお金を惜しむな！



IMDが発表している1989年の世界競争力ランキングトップは日本だったが、今は30位だ。1989年の世界の時価総額トップ30社中に日本企業は21社も入っていたが今はゼロ。日本の労働生産性は先進各国最下位でこの50年間ほとんど変わっていない。

平均賃金はOECD加盟35カ国中18位。相対的貧困率は38カ国中27位。教育に対する公的支出のGDP比は43カ国中40位。年金の所得代替率は50カ国中41位。障害者への公的支出のGDP費は37カ国中32位。失業に対する公的支出のGDP比は34カ国中31位（OECD）。2017年における世界輸出に占める日本のシェアは3.8%。1位は中国（10.6%）、2位は米国（10.2%）、3位はドイツ（7.7%）。THE世界大学ランキング2017年で東大は46位。京大が74位、他の大学は200位圏外となっている。

この現状を政治家はどう考えているのだろうか。日本の国力がこれほど衰えているにも関わらず、政府は現状を打破する対策を打たない。今、必要なのは大胆な政府（財政）支出だ。2001年から2018年までの先進国のGDPと政府支出の推移を見るとインドと中国はGDPと政府支出が共に8倍になった。アメリカとイギリスとカナダは



IMDが発表している1989年の世界競争力ランキングトップは日本だった

が、今は30位だ。1989年の世界の時価総額トップ30社中に日本企業は21社も入っていたが今はゼロ。日本の労働生産性は先進各国最下位でこの50年間ほとんど変わっていない。

平均賃金はOECD加盟35カ国中18位。相対的貧困率は38カ国中27位。教育に対する公的支出のGDP比は43カ国中40位。年金の所得代替率は50カ国中41位。障害者への公的支出のGDP費は37カ国中32位。失業に対する公的支出のGDP比は34カ国中31位（OECD）。2017年における世界輸出に占める日本のシェアは3.8%。1位は中国（10.6%）、2位は米国（10.2%）、3位はドイツ（7.7%）。THE世界大学ランキング2017年で東大は46位。京大が74位、他の大学は200位圏外となっている。

GDPと政府支出が共に2倍になった。では、日本はどうかというとGDPと政府支出の伸びは共にゼロだ。なんと日本は18年間も経済成長はゼロとなっている。なぜかということ新たな政府（財政）支出をしない緊縮財政だからだ。

経済学者のステファニー・ケルトン教授は現在の日本経済を正確に分析し、問題点や対処方法も論じている（MMT理論）。日本政府は積極的に政府（財政）支出を行うべきだと。政府支出の赤字は「国民には黒字」だとも。教育や社会保障、エネルギーや農業開発、医療やバイオ開発、最先端技術の開発などに思い切った資金を政府が出して元気な日本にすることが求められる。人を育てるためのお金を惜しまず、政府が無償で援助することが重用だ。従業員の給与が毎年10%増加するように政府支出すれば、内需が喚起される。埋もれている日本人の高い潜在能力を発揮させることに政府は全力で取り組むべきだ。そうすれば日本は間違いなく蘇るだろう。

潮流銘柄はソースネクスト（4344）、マネジメントソリューションズ（7033）、TIS（3626）。

から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp



岡山憲史氏（株式会社マーケットバンク代表取締役）のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中から

政府赤字は国民には黒字

チャートから読む 騰落銘柄

カプコン(9697)



10月3日には2725円まで調整していたが、50日移動平均線を下値サポートに再度ジリ高基調。8月27日の年初来高値2966円を抜ければ、18年8月31日に付けた最高値3045円が視野に入る。

ホロン(7748)



大勢上昇トレンドのなか、高値保ち合いを上放れる。1年来の上値のフシを払い上昇加速へ。業績堅調で需給も良好、鋭角的に上昇してい来る5日線と日足一目均衡表転換線を下値支持に噴き値局面近い。

ネクソン(3659)



9月12日に1528円まで上昇した後は一貫して下落基調。40万株超の買い残も重石で8月9日安値1253円を下回れば、18年11月20日の1074円が意識さる。11月7日発表の3Q決算も注視。

マネックスG(8698)



戻り試すも上値は重く再び日足が陰転、大勢下降トレンドのなか、急降下する5日線に上値を抑えられ下値模索が続く。押し目買いに積み上がった信用買い残が重荷で、16年に付けた最安値214円が視野。

※チャートは日足

今週の

活躍期待銘柄



ミズホメディー (4595)

インフルエンザ流行追い風

ミズホメディー(4595)の株価は2300円台での底値揉み合いを経て、上昇基調を鮮明化させてきた。7月8日の2700円を抜ければ、4月24日の年初来高値2962円を目指す動きを期待したい。

感染症抗体やホルモンなどの体外検査用医薬品專業でインフルエンザから腎・肝機能など幅広く展開している。季節外れの暑さで、インフルエンザが異例の流行を加速させていることから、インフルエンザ検査薬への引き合いが急増するとの期待が高まっている。

連れて19年12月期は第2四半期累計(1~6月)営業利益で4億3400万円(前年同期比24.9%減)ながら通期予想の13億2100万円(前期比8.2%増)は達成可能で、状況次第では上ブレ期待も高まりそうだ。

4月年初来高値奪回に期待



手間いらず (2477)

1Q決算発表に向け一段高へ

手間いらず(2477)は約1カ月間の高値保ち合いを上放れてきた。

基幹サービスの宿泊予約サイト「TEIKO INN」の連携先を拡大することで、年率20%超の成長を持続、20年6月期も売上高17億200万円(前期比25.2%増)、営業利益11億6300万円(同31.6%)と大幅増収増益で最高業績更新を見込む。さらに、ドバイや中国のホールセラーや観光市場向け「ToBポータル」、国内でも温泉旅館・ホテル予約サイトやホテル料金設定サービスなども矢継ぎ早に連携。訪日外国人観光客は韓国を除いて増加が続く、東京オリンピック開催に向け、さらに宿泊予約サイト「TEIKO INN」へのニーズは高まっていく。

収益上振れ期待は強く、1Q決算発表へ向け、一段高へ進みそうだ。

年率20%成長で最高業績

※チャートは日足



敏腕先物ディーラー

ハチロクの裏話

ハチロクのプロフィール
証券アナリストから証券会社

の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。

先週の日経平均は下値を固める動きから金曜日には米中協議の進展を背景に戻りを試す展開となった。

10月のSQ値は2万1842円63銭と決まり、執筆時点では幻のSQ値となっており、今週

戻り売りこそなす底堅い展開か？

暫く指数より個別に妙味

は早晩、この値を抜いてこないことには大きな壁にあらう。指数の動きとしては100日線(2万1235円処)が下値抵抗ラインとして機能し、3日に付けた「窓」(2万1743円)を埋めてきたことに

相場の強さを感じる。また、市場の予想から大きく下方修正して発表された安川電機も金曜日に寄り付きこそ大きく売られたが、引けにかけて戻しており、悪材料を織り込む力が相場には出てきているようだ。

しかし、11日

から始まっている米中閣僚級貿易協議が15日の関税引き上げ前にまたトランプ氏の「ちやぶ台返し」があれば、せつかくの戻り相場も台無しにされかねない。10月末のイギリスのEU離脱問題も迫ってきており、海外発の要人発言で指数が乱高下する可能性はまだまだ高い。

VIX指数の売り越し残高も1日時点で11万6000枚と昨年の10月(12万2000枚)に迫る勢いである。突発的な下落が更なる大きな下落を招く素地があることに注意したい。暫くは指数よりも個別株のほうが妙味がありそうだ。チャートの25日線(2万1696円処)を抜いて推移、

日経225先物日足チャート



転換線(2万1607円)も明確に抜けてきているので、戻り相場が期待されよう。9月19日を起点とする上値抵抗ラインは2万1950円処に位置する。10月SQ値を抜いてくれば、このラインを抜いてくる可能性は高いが、2万2000円を挟んだところで再び揉み合うと思われる。下値は5日線(2万1550円処)、100日線が意識される。今週は戻り売りをこなす底堅い展開を予想、2万1300円から2万2100円のレンジを想定する。

星野三太郎の 株街往来

～ラグビーW杯で
経験した国際交流～

10月3日

日は取引先から頂いたチケットを利用して御崎公園球技場（ノエビアスタジアム神戸）までラグビーワールドカップの「アイルランドvsロシア」を観戦してきた。普段はプロ野球しか観戦したことがなく、球技では数年前に1度だけサッカーで

ガンバ大阪の試合をパナソニックスタジアム吹田まで観戦した記憶しかない。

やはり国際大会は文章では表現できない独特の雰囲気があり、グリーンの衣装を着た多くのアイルランド人がスタジアムに集結したのには驚いた。隣席したアイルランドの若者から「どちらを応援しているのか？」と聞かれて「ダブリンにステイした経験があるのでアイルランド」と答えたなら、意気投合した。試合は結局、アイルランドの圧勝だったが、サッカーとは違うパワーのある試合は見応えがあった。試合後はハイネケンでカンパイして、大騒ぎになって、その後はスタジアム近隣の居酒屋で飲み直したが、通訳などで働くボランティアなど日本人の対応には高く評価していた。

隣国とは歴史問題などで最悪の状態だが、今回のような国際大会などを通じて国際交流の重要さを改めて実感した。



New product

ナカバヤシ 軽くて場所を取らない
電動鉛筆削りスリムトレタイプ



ナカバヤシ（7987）は、軽量で場所を取らないコンパクトなデザインの電動鉛筆削り「電動鉛筆削りスリムトレタイプ」

を10月中旬から全国で発売する。

この新製品はくずケース容量が同社従来品（DPS-211）と同等で、場所を取らないコンパクトなデザインの電動鉛筆削り。天面がトレイになっており、電動鉛筆削りでは削れない短い鉛筆やクリップ等の小物置きに使えるため、スペースの有効活用ができる。芯先の太さは3段階で調整、切り替えは前面の「太さ調整つまみ」で行える。従来は、机の上でくずケースを引き出すと、削りくずが散らばりやすかったがゴミ箱の上で本体からくずケースを引き出して直接捨てられるため、机の黒ずみ汚れも防止できる。税別価格は3600円。

国土交通大臣賞受賞

クボタ

インフラメンテナンス大賞



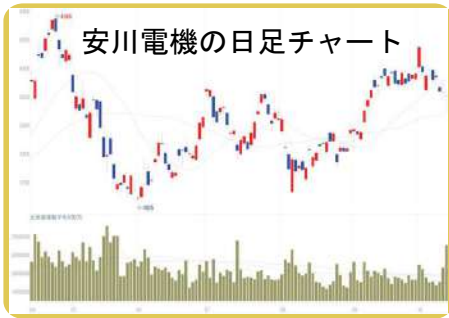
CSカメラ スネークンを使った調査

クボタ（6326）が開発した、「下水道圧送管路における

企業レター

硫酸腐食箇所の効率的な調査技術」が、第3回「インフラメンテナンス大賞」（主催：国土交通省、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、防衛省）において、「国土交通大臣賞」を受賞した。

今回、受賞した技術は机上スクリューリングで腐食危険箇所を抽出し、空気弁設置箇所から圧送管内調査機器「CSカメラスネークン」を挿入して、管内面の状況をカメラで撮影するもの。視覚調査により劣化度を的確に診断・評価できるので、事故を未然に防ぐ予防保全調査による適切なストックマネジメントの推進が期待される。



で行われることが濃厚で、協議内容が仮にネ

記者の視点 相場見通し

引続き海外動向注視

輸出主力押し目買い意識

10月第2週は米中閣僚級協議を前にした報道に指数が振らされる動きになった。この欄を執筆している段階では協議の結果は不明だが、トランプ大統領と中国側双方から前向きなコメントが伝えられており、225オプシオンS Q日である11日は日経平均で2万1700円台に乗せて引けている。因みに今回の米中閣僚級協議を通過すれば11月16日からのチリでのAPEC首脳会議で再度、米中首脳会談が行われることが濃厚で、協議内容が仮にネ

れることはなさそう。日経平均は50日移動平均線が下値サポートになり、2万1000円接近では押し目買い意識が働きそうだ。10月第3週は14日の日本での祝日に中国貿易収支、15日に中国9月消費者物価、16日には9月米小売売上高など米中での経済指標発表が相次ぐ。これに加えて15日はシタイグループ、ゴールドマンサックス、ジョンソンエンドジョンソンなど米企業決算も控えており、海外動向が引

ガティブな内容でも過度に悲観さ

き注視されることになりそうだ。

国内では15日の近鉄百貨店(8244)やドトール・日レスホールディングス(3087)などで2月期企業の第2四半期決算が一巡する。今後は3月期企業の発表に関心が移るが、注目された安川電機(6506)は通期予想の大幅下方修正にもかかわらず、売り一巡後は戻す動きになり、ズズキ(7269)も下方修正ながら続伸となつている。米中協議などの動向にも影響されそうだが、輸出系で今後、下方修正されても、アク抜け感から押し目

が買われる展開も想定している。

今週のスケジュール

- 14日 中国9月貿易収支(8:50)
IMF・世銀年次総会と関連会合(～20日ワシントン)
- 15日 8月第三次産業活動指数(13:30)
日銀支店長会議/地域経済報告(さくらレポート)
IT技術とエレクトロニクスの国際展示会「シーテック2019」(～18日)
中国9月消費者物価、中国9月生産者物価(10:30)
独10月ZEW景況感指数(18:00)
米10月連銀製造業景気指数(21:30)
米国による対中関税の第1～3弾を25%→30%に引き上げ
- 16日 9月訪日外客数
米9月小売売上高(21:30)
米9月ADP雇用統計(21:15)
- 17日 9月首都圏新規マンション発売(11:30)
EU首脳会議(～18日)
米9月住宅着工件数(21:30)
米10月フィラデルフィア連銀製造業景況感指数(21:30)
米9月鉱工業生産・設備投資稼働率(22:15)
- 18日 9月消費者物価(8:30)
中国9月都市部固定資産投資、中国9月工業生産、中国9月小売売上高、中国7-9月GDP(11:00)
米9月CB景気先行総合指数(23:00)

編集後記

前週も短期で値幅を狙う中小型株の個別物色が続いた。ただ、これまでに増して資金の逃げ足は速く、高値引けの翌日に売り先行、上値のフシを抜いたとたん失速するなど、セオリーと逆にいくケースが目立っている。上値追いに慎重と言つてしまえばそれまでだが、市場参加者が少ないなか、特定少数の投資家が動きの出した銘柄に群がり、利益が乗ればすぐに売りに出されてしまふ、いわゆるパバ抜き状態になっているのではないだろうか。

投資スタンスを根本的に見直す必要があると感じる。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。